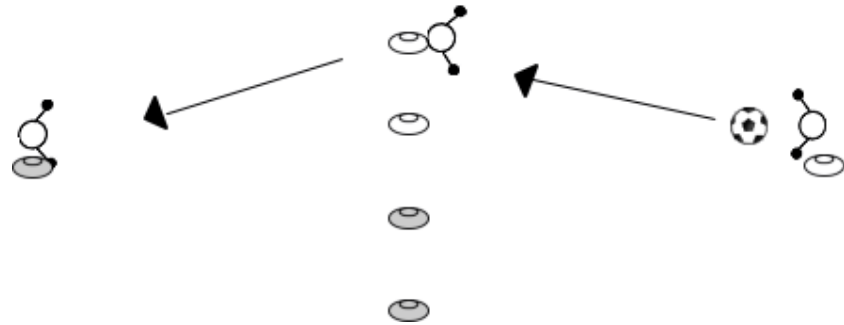


JFAアカデミー指導者による巡回指導YFA研修会

平成27年12月1日(火) 押原公園人工芝G 及び 会議室

指導者: JFAアカデミー福島 フェラン・シビラ氏(スペイン) 通訳: 須藤氏

指導を受けた選手: 甲府トレセンU-12 モデル地区トレセン時

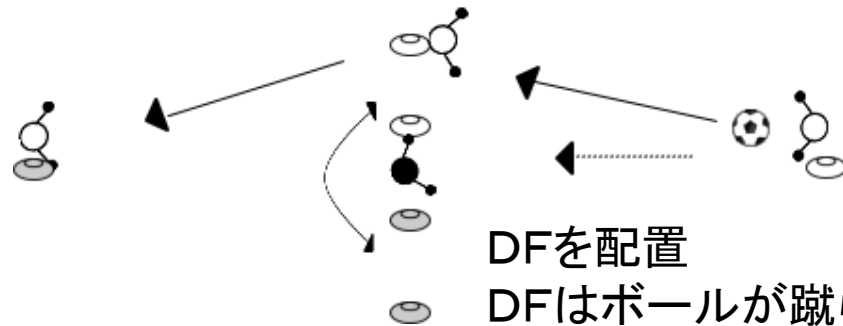


実技(W-UP) 認知「攻撃」

①パス&コントロール

いつ=ボールの移動中
どのように見る=首を振って見る

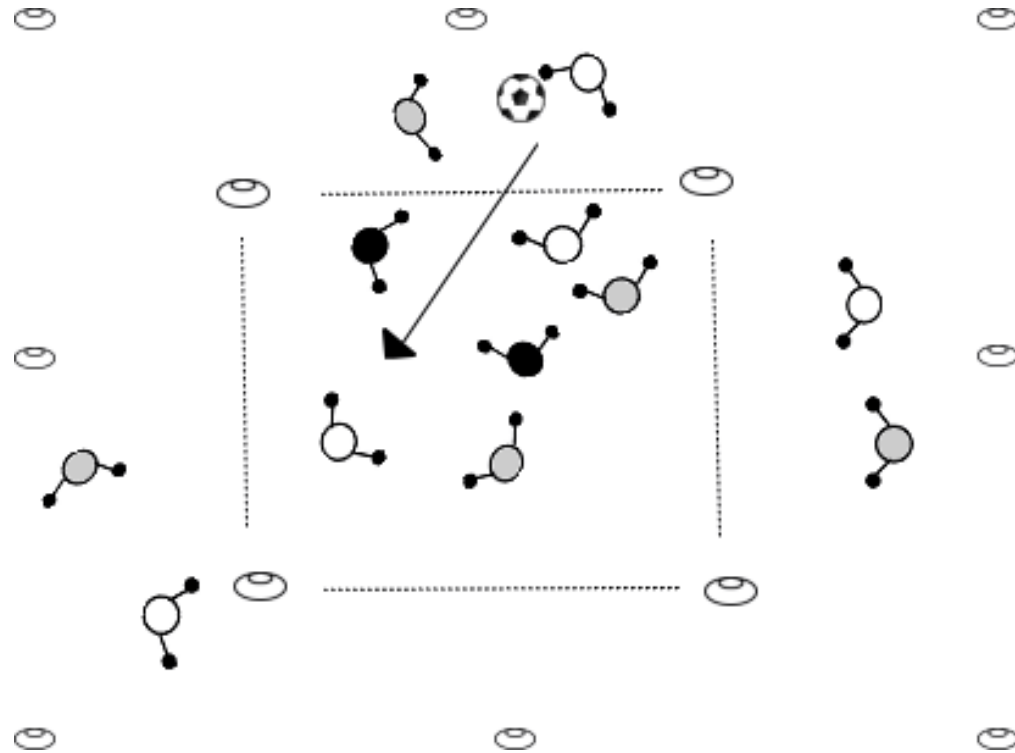
DFを付けることやDFの立つ位置によって
見ることの難易度が変わる。
しっかりとみてコントロール方向を判断する。



DFを配置

DFはボールが蹴られるときポジション立つ位置を変える

見ることをテーマとしているので、コントロールや
キックのミスなどはあえて指摘しない



実技(TR1) 認知「攻撃」

②5対5 +2フリーマン ポゼッション

内側エリアは2対2+2フリーマン

外側エリアは1対1×3

・選手に要求＝首を振る・常に見る

選手が首を振るけれど観ていない場合など
ストップの声と同時に「何を見たか？」と質問

選手に考えさせた。さらにストップと同時に
目をふさぐ(手で覆う)こと要求！

選手に、いま周りに何人相手がいるかと質問する
ことで選手にはさらに精度を要求した。

その結果、見ることをさらに意識することが出来
結果として良い判断を導き出せた。

実技(TR2) 認知「守備」

③3対3 +2フリーマン

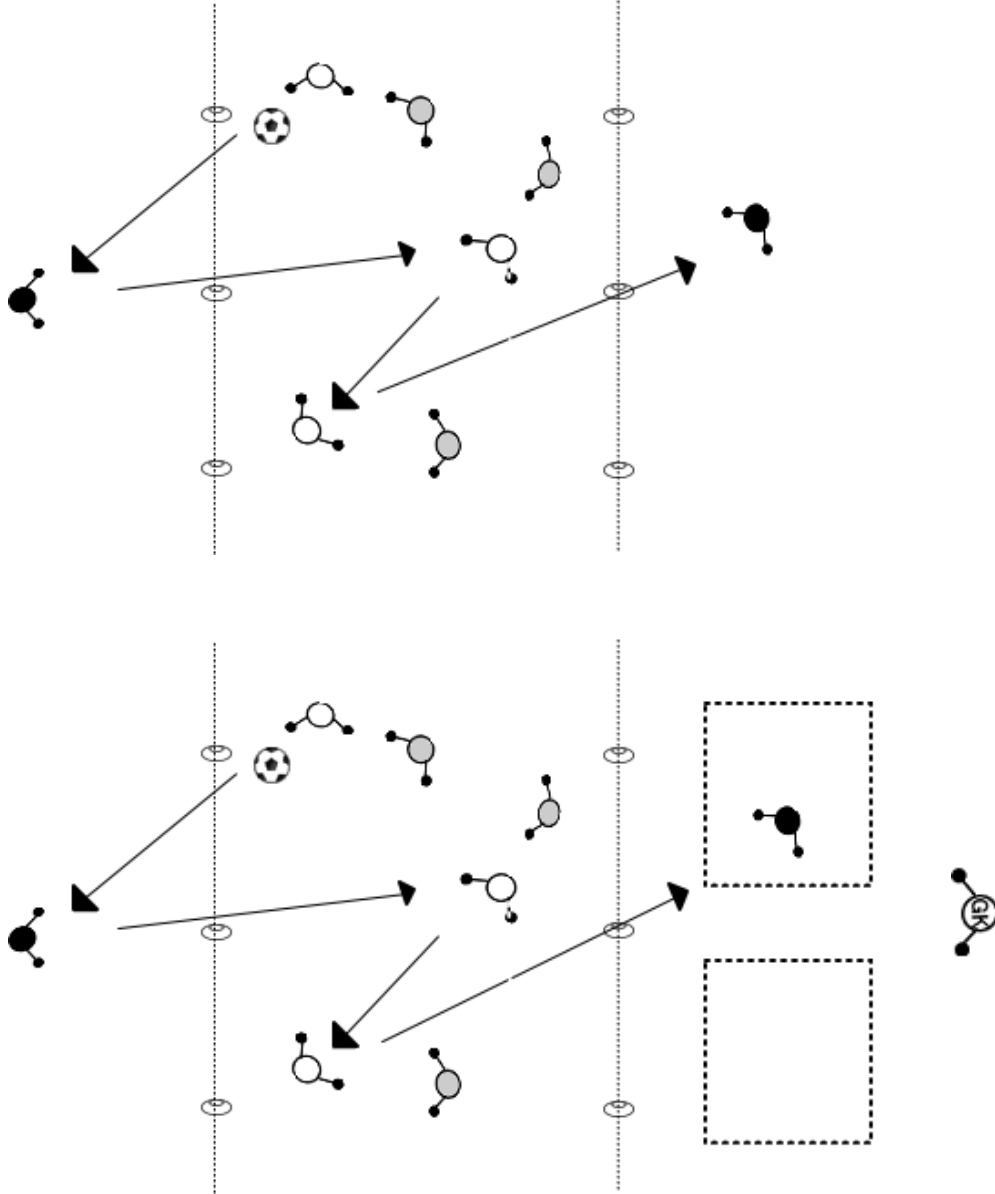
攻撃方向限定

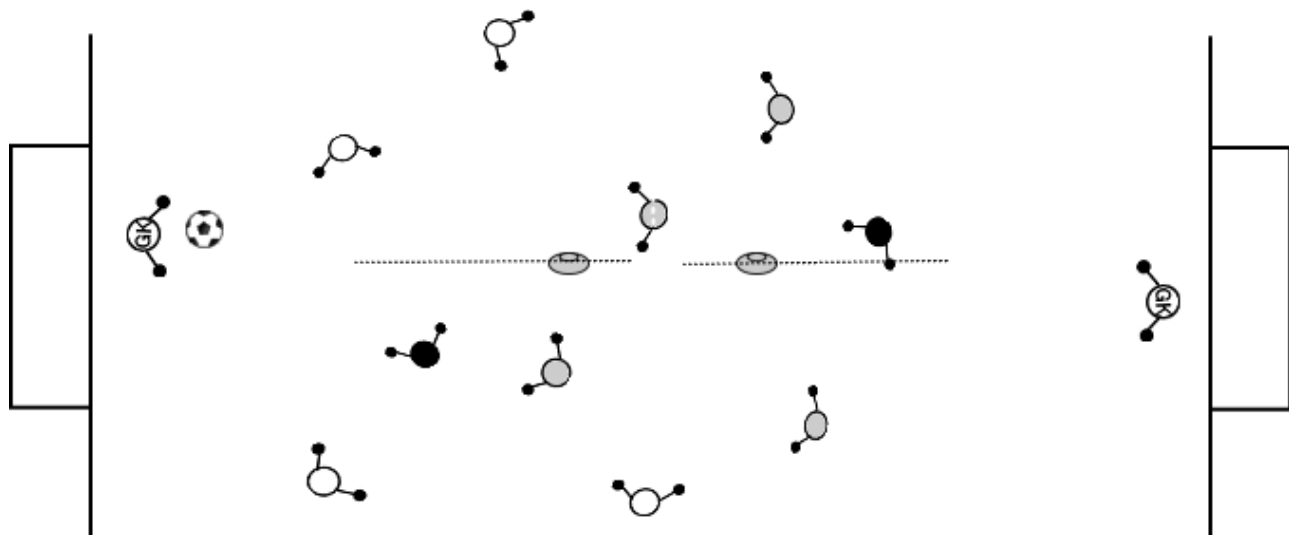
・選手に要求＝首を振る・常に見る
DFの選手はどこを見るのか？ 声掛け！
「何を見たか？」と質問選手に考えさせる。

ゴール前にトップの選手がいるエリアを設定
DFの選手にはどちらのエリアにトップがいるのか
首を振って見ることと同時に手をあげる動作を
要求し意識付けを行った。

その結果、見ることをさらに意識することが出来
結果として良い判断を導き出せた。
良いポジショニングで縦パスを入れさせない意識
付けができた。

攻撃側に対してはタイミングのよい動き出しや
ダイレクトプレーによる縦パスが見られた時には
プレーを褒めていた。(基準になる)
結果トレーニング全体のスピード感が出現した。





実技(GAME) 認知「守備」

④4対4 +2フリーマン

- ・W-UP～TR2までの積み上げ
- ・守備へのフォーカス⇔攻撃への働きかけ
- ・シンクロとフリーズのバランスでPLAYの確保
(サッカーをさせる)